

## 第1回安定・効率輸送協議会 議事概要

- ・日時:平成30年2月13日(火) 14:00~15:30
- ・場所:国土交通省3号館11階特別会議室

### <荷主企業>

- 荷主と内航海運業界間の意識の共有が、より強固なパートナーシップの礎となり、ひいては、共存、共栄に資すると考えられることから、本協議会が、両業界の相互理解と信頼の醸成を深める場となるよう期待している。
- これまでもかなり積極的に内航海運に関与。今後も本協議会を通じ、安定・効率輸送が実現し、さらに代替建造という観点から造船業も活性化されるというプラスのスパイラルが生まれることで、日本産業全体の強化に繋がることを期待するとともに、国の参画による各種法律等の整備や規制緩和、支援策の充実等、官民一体となった改善・発展が実現されることを期待している。
- 大きな課題は、荷主と内航海運業界間で共有されていると思われ、今後、本協議会を通じ、実行可能な対策の立案を進めていくことが必要。荷主、オペレーター、オーナーが一体となって、実のある協議が行われていくことを期待している。

### <海運業者>

- 2つの高齢化問題の解消、将来に向けた船員確保対策は重要。内航海運は物流の大動脈であり、諸問題の解消が遅れ、船が止まるような事態となれば日本経済は麻痺する。しかし、内航業界だけで解決できる問題ではなく、本協議会を通じた、荷主、内航業者の連携による諸問題の解決への取組、国の積極的な指導、Sox問題への荷主の理解を期待している。
- 2つの高齢化の解決の鍵は、本協議会と考えており、国の役割に期待するとともに、内航海運業者が安心して安全運航に専念し、社会的輸送責任を果たすことができるような事業環境の改善がなされることに期待している。
- 魅力ある産業でなければ、将来的に船員を含めた人材の供給が滞る可能性があることから、変化を恐れず、内航海運業界に関係する全ての人の満足度、幸福度を高めていく観点からの取組について、本協議会を通じ、議論されていくことを期待している。
- 内航海運の使命である安全運航と安全輸送は、代替建造なくして遂行できない。また、船員確保や育成も切なる問題である。荷主各位の強力なご理解の下、本協議会を通じ、これらの問題に対し、内航海運業界も切磋琢磨して取り組んでまいりたい。
- 内航海運が抱えている多くの課題、問題について、個々の会社間では様々に話し合われているかと思うが、行政を含めた本協議会を通じ、問題意識の共有、検討がなされ、安定・効率輸送を達成してまいりたい。
- 内航海運の安全は、経験に基づく技術の伝承により確保されているが、人材を育成し、伝承していくための環境の確保もままならないのが現状である。本協議会を通じ、荷主と内航海運業界の理解の醸成、息の合った話し合いの場となることを期待している。

### <行政>

- 構造的課題を抱える内航海運において、将来にわたる持続的・安定的な船員確保・育成や船舶建造を行うには、事業者単独の取組では限界。本協議会の定期的開催により、関係者間での課題の共有等の連携を一層強化し、必要な施策の実現に向けて努力してまいりたい。